

DT/TC 問わず使用できる「バース予約・受付システム」を稼働開始 しました

2019年1月18日

福岡運輸株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 富永泰輔、以下「福岡運輸」）は、2019年1月より、自社開発した「バース予約・受付システム」の本格稼働を開始いたします。このシステム導入により乗務員の待機時間が解消され、物流効率が格段にあがることとなります。

まずは基幹拠点である東京支店（神奈川県川崎市）と福岡支店（佐賀県三養基郡基山町）にて稼働させ、その後順次拡大していく予定です。

1. 開発・導入の経緯

弊社倉庫は、朝は地場集配車両の積込み、日中は保管貨物の入庫、夕方から夜間にかけて地場集配車の荷卸し・幹線車両の積込・保管貨物の積込、深夜から早朝にかけては幹線車の中継荷卸しと複数の用途で1つの倉庫を共用しており、限られたバースや荷捌スペース・作業員を適切に管理・回転させることが効率化の鍵となります。

そこで、TCとDCそれぞれの受付情報を一括管理すると共に、バースの使用状況を可視化することで、状況に応じたバース運営ができるシステムの開発を行うに至りました。

2. バース予約・受付システムの機能・特徴

弊社は倉庫を運用する立場であると同時に車両を運行する立場にもあります。今回開発する上では、倉庫の管理者や作業員の視点に加えて、受付を行うドライバーの視点を重視いたしました。

◆ 機能

バース予約・受付システムは主に4つの機能で構成されており、用途に合わせて自由に組み合わせて使用することが可能です。

予約機能

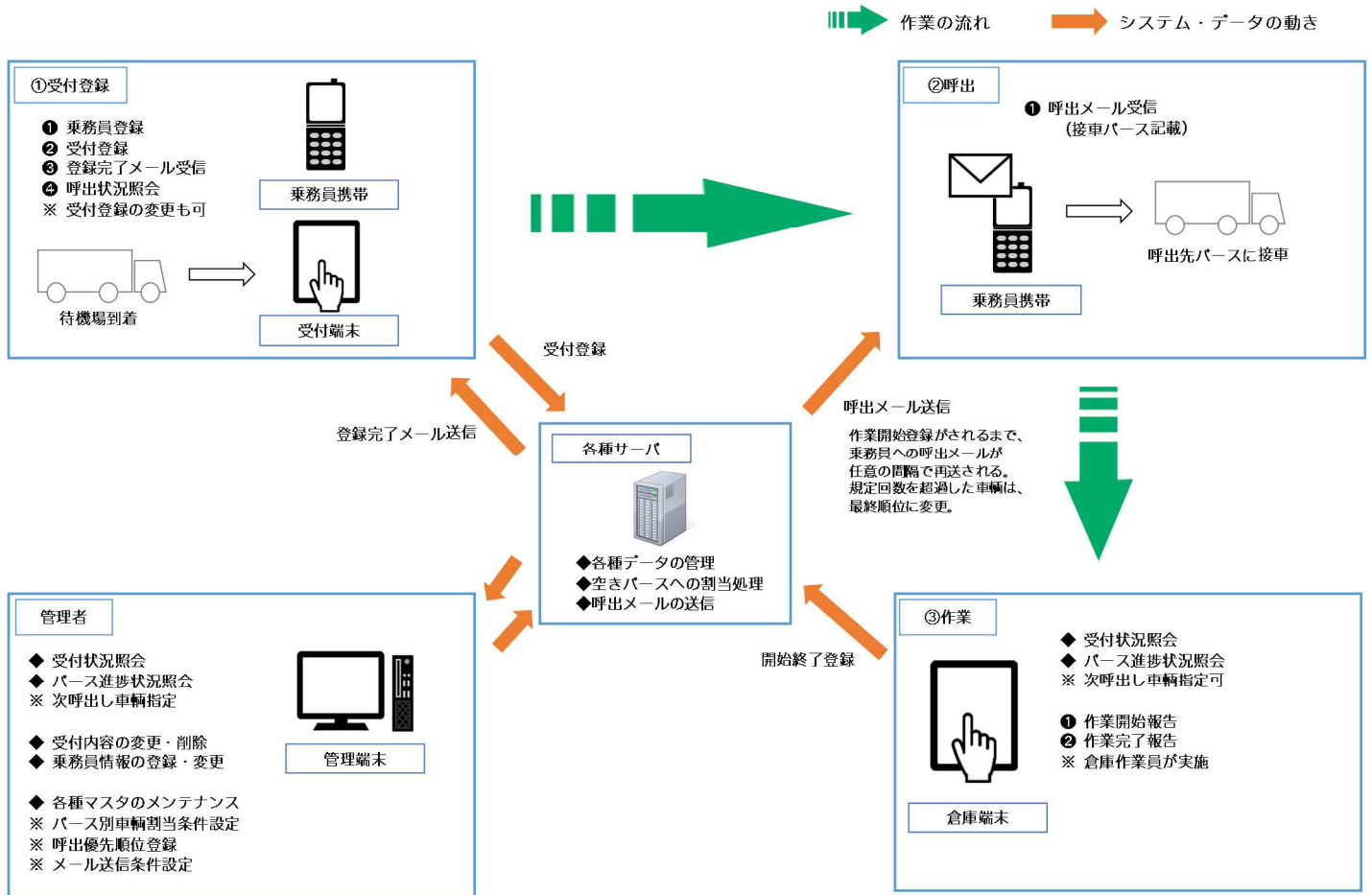
受付機能

バース自動割当

乗務員通知・誘導

例えば、待機時間が無いことが見こされる時間帯には予約を無くし『受付機能+バース自動割当+乗務員通知・誘導』で運用、車両混雑が激しく状況に応じた順番の入替が常時必要な際には『受付機能』のみ稼働させ、割当・呼出は人が臨機応変に判断して電話呼出を行うなど、自由に運用できます。

▼バース予約・受付システムの全体像



◆ 特徴

- ① 受付は拠点に備付の受付機の外、ドライバーの携帯電話・スマートフォンからも可能
- ② 予約・受付システム専用 URL にアクセスするため、専用アプリのダウンロードは不要
- ③ 確実に通知できるよう SMS (ショートメッセージ) を採用
- ④ ドライバーが遠隔地でも確認できるよう進捗状況をリアルタイムで公開
- ⑤ バース毎に割当条件を設定でき、システムが呼出車輛を自動判定
- ⑥ 様々なバース割当条件がパターン登録でき、状況に応じた即時呼出・適用が可能
- ⑦ 自動割当の他に、任意の車輛に対して優先呼出も可能

3. 今後について

今後は輸送システムや倉庫システム、動態管理システムとの機能連携をさらに進めていく予定です。それによって、貨物の集荷から納品まで全ての段階を可視化し、シームレスで管理できる仕組みの構築を進めていきます。